



# 日本木材学会 ダイバーシティ推進委員会 活動報告

## ダイバーシティ推進委員会とは

- 2011年に発足し、2年間の活動を行った男女共同参画委員会は2013年にダイバーシティ推進委員会として新たなスタートを切り、より多様な立場の方々の多様な形での学会参加を促進することを目的に、今期(2019--2020年度)は12名の委員で活動しています。
- 男女共同参画学協会連絡会行事への出席や、(独)国立女性教育会館主催「女子中高生 夏の学校」への参加(ポスター展示・キャリア相談)などに積極的に取り組んできました。
- 若手女性会員の比率増加に向けて様々な方策を提案していきます。女性研究者の研究継続支援のため、2014年から優秀女子学生賞を設立し、受賞者を輩出しています。
- 年次大会中にランチョンミーティングを企画し、様々な立場の方からの話題提供や議論の機会を設けています。



ダイバーシティ = 多様性

組織の中に多様な人材がいる方が、より柔軟で発展性のある組織となると考えられています

## 優秀女子学生賞にぜひご応募ください！

優秀女子学生賞は「木材学とそれに関連する分野で、優れた研究業績を収めて将来を嘱望される本学会女子学生会員」に毎年原則として2件以内授与されます。受賞者には賞状のほか、以下のような副賞が贈られます。ぜひ積極的にご応募下さい。



第1回 「Chienoki / 「迪 michi」チエノキ」



第2回 「百年の時と「～Day by Day～」生きた木と」



第5回 (今年度) 「straight up」

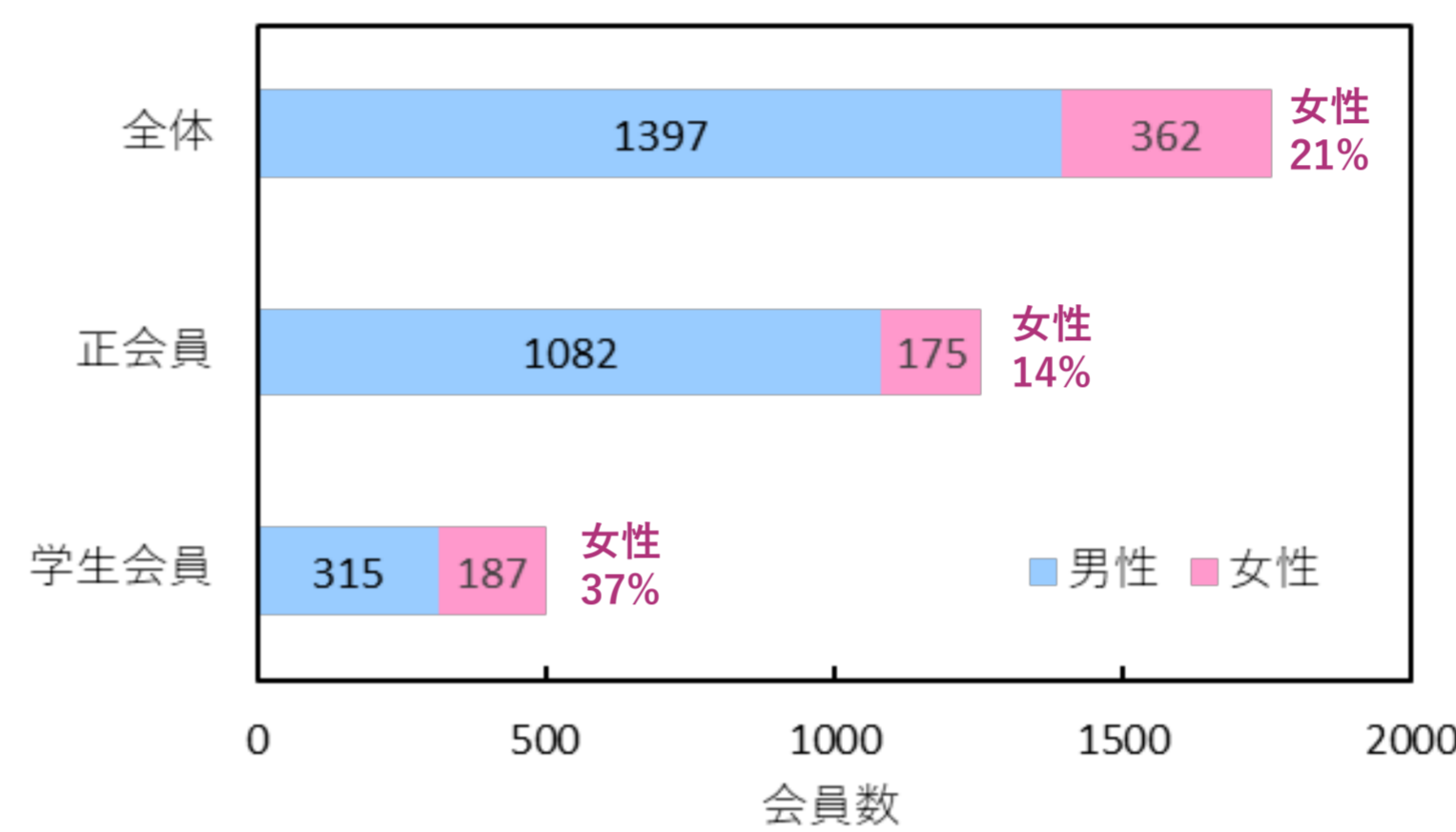
これらの副賞は、昭和女子大学環境デザイン学科に所属する【デザイナーの卵】の方々により、デザイン・製作されています。今年度の制作/昭和女子大学・環境デザイン学科・ナカダ研究室デザイン/池内真子(昭和女子大学3年)、ご指導/ナカダシロウ

～杉…古代より神聖に扱われた日本を代表する樹木～

「杉」は本州最北端から屋久島まで自生し、現在は北海道にも広く造林されている日本を代表する樹木です。傍らにはびこらず上へ真っ直ぐに進み成長することから「進木(スギ)」と呼ばれたと言われています。製材されると木目と呼ばれる整った年輪が現れるのですが、今回の杉材は、空目と呼ばれる複雑な模様のある貴重な木材になります。鉋をかけ磨くとまるで大理石のような深い模様をみせてくれます。外見からは、想像もつかない美しさを内包しているからこそ、古代より愛され信仰されてきました。「杉」のように真っ直ぐで、中身も美しい女性になっていただければ…と思いで制作させていただきました。

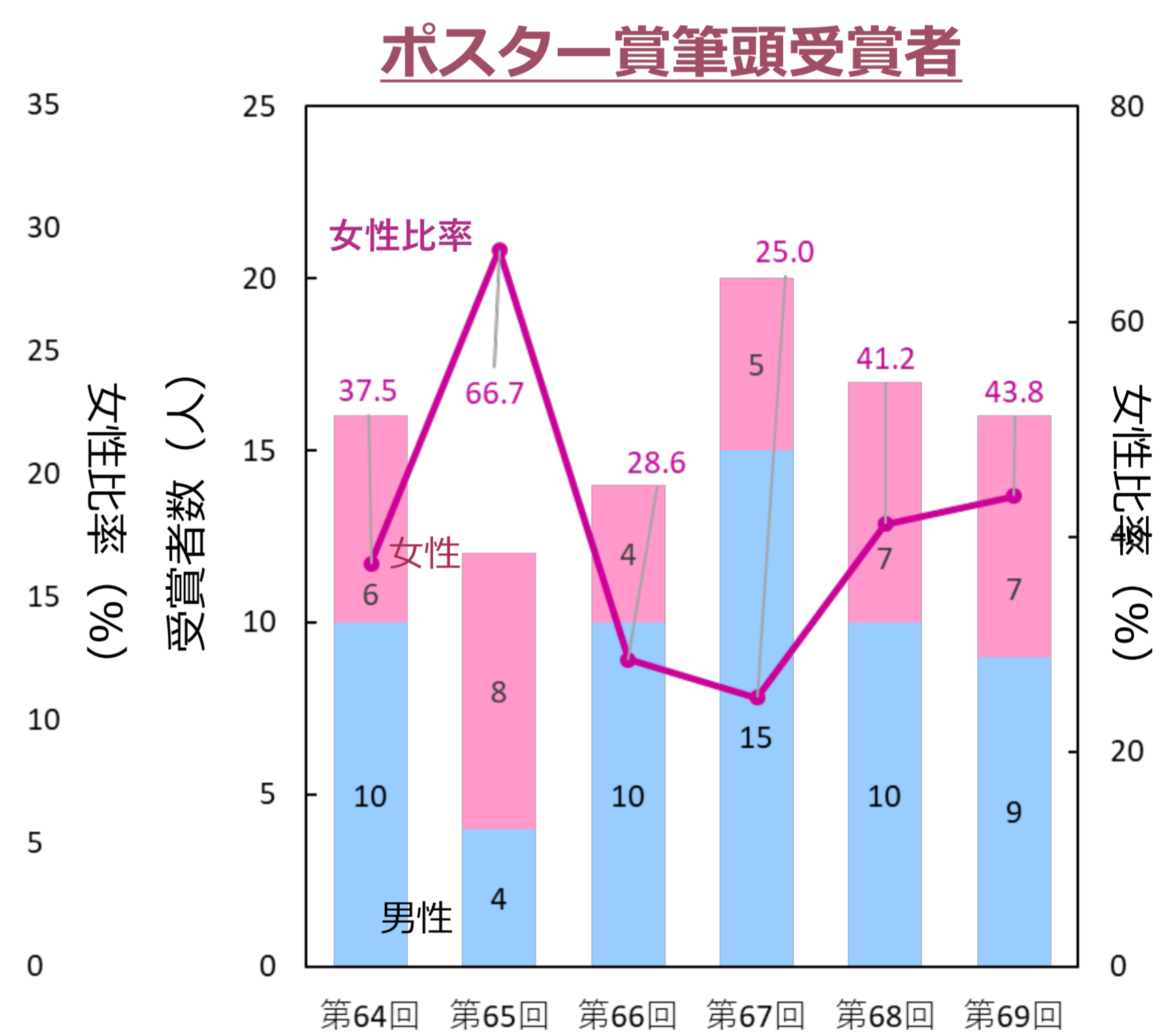
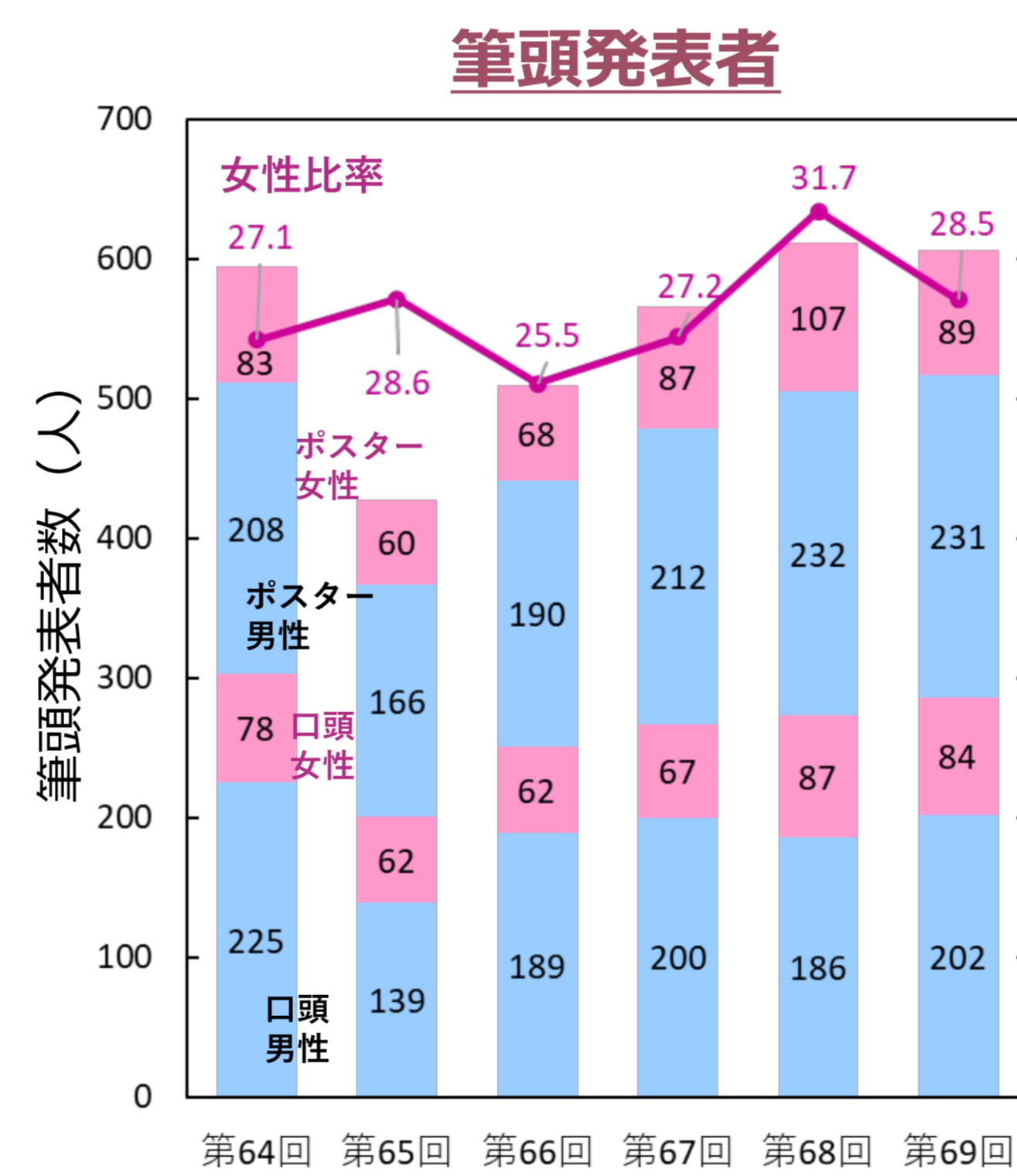
提供/榎本銘木店 (一社)木と住まい研究協会

## 会員数と年次大会参加者の女性比率



学生会員における女性比率に対して一般会員における女性比率が非常に低いことが木材学会の特徴です。

ダイバーシティ推進委員会では、本学会の年次大会における筆頭発表者およびポスター賞受賞者の女性比率を独自に調査しています。ともに女性の健闘が伺えます。



## 学会内外での活動

### ランチョンミーティング



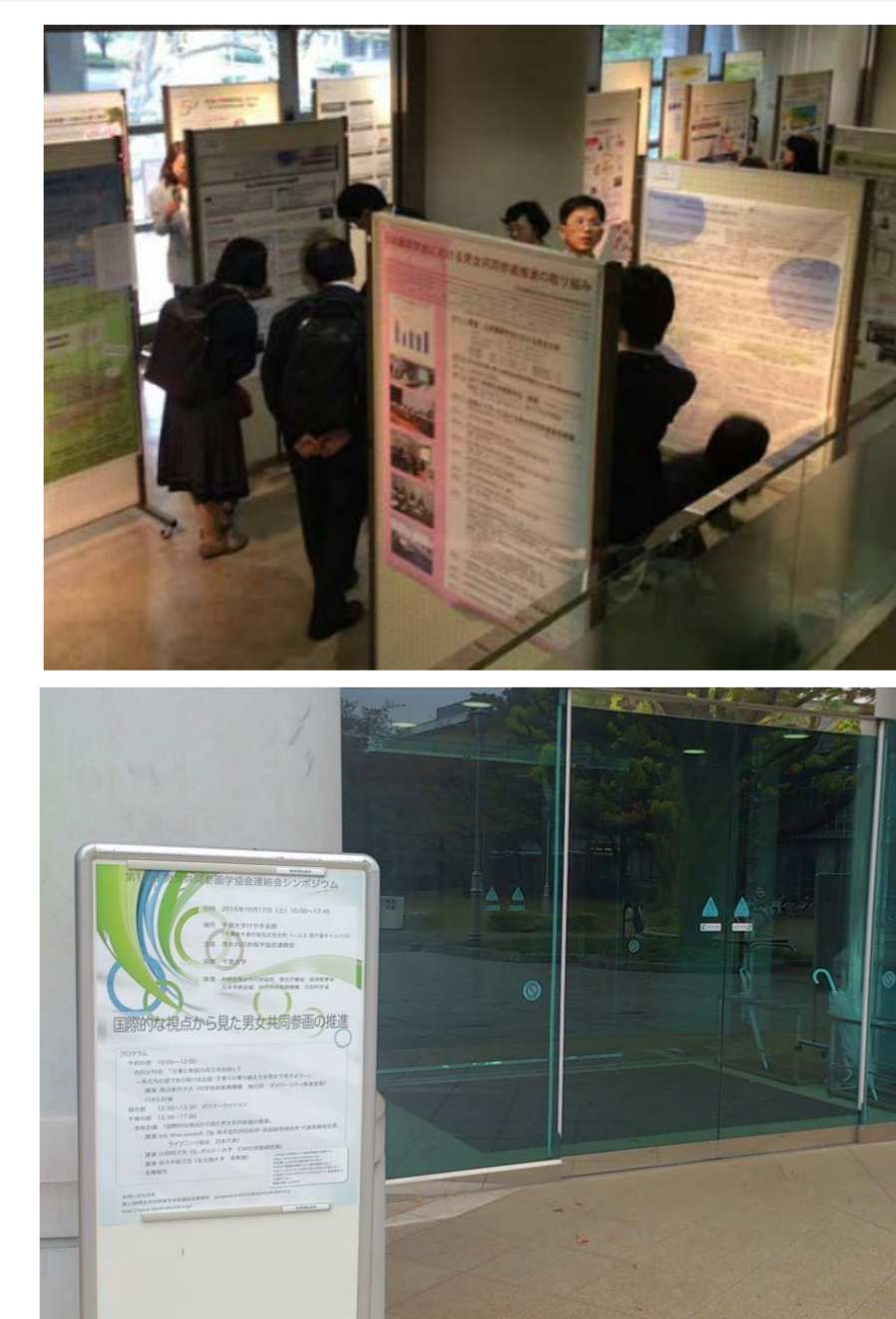
- 毎年、年次大会中の昼休みに開催して、様々な視点から、経験者ならではの話題提供を頂いています。
- 第70回大会でも「活躍の場が広がる木材研究者 Part2」を予定していましたが、大会が中止となりました。

### 女子中高生夏の学校



- (独)国立女性教育会館主催「夏の学校」に毎年ポスター・キャリア相談ブースの出展を行っています。
- 木材ストラップの作成・配布を行い、参加者に木材学の楽しさをアピールしています。

### 学協会連絡会シンポジウム



- 男女共同参画学協会連絡会が主催するシンポジウム等に参加し、木材学会の活動をアピールしています。
- 特に優秀女子学生賞は、他学協会にない先駆的な取り組みとして注目を集めています。